＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：あーす保育園鶴見中央		種別：認可保育所
代表者氏名：鈴木潤香		定員（利用人数）：51名（２5名）
所在地：〒230-0051　横浜市鶴見区鶴見中央3-3-14		
TEL：045-642-7344		ホームページ： https://earth.apical.jp/tsurumichuou.html
【施設・事業所の概要】		
開設年月日　2021年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アピカル		
職員数	常勤職員：6名　　非常勤職員：8名	
専門職員	保育士　12名 栄養士（内管理栄養士）　１名（1名） 調理員（内調理師）　１名（0名） 事務員	
施設・設備の概要	（居室数） 乳児室（１～２歳児室）　1 幼児室（３～５歳児室）　1 調理室　1 トイレ　6 事務室　1 職員休憩室　1 相談室　1	（設備等） 鉄骨造り４階建て 建物延床面積　336.8㎡ 園庭　76.5㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】 一人ひとりを温かく受け止め個性を認める保育を大切にし人生を「生きぬく力」を育む ・心も体も健康で丈夫な子ども ・明るく素直に感謝と反省ができる子ども ・創造力が豊かな子ども 【基本方針】 児童福祉法等、関連法令を遵守し良質な水準かつ適切な内容の保育・教育の提供を行うことにより、すべての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指します

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】 あーす保育園鶴見中央は、ＪＲ京浜東北線鶴見駅・京急鶴見駅東口より徒歩6分のところにあり、大手の製造工場や商業施設、マンション群の中にあります。株式会社アピカルが2021年4月に開設した3年目の保育園です。１歳児から5歳児まで25名（定員51名）が在籍しています。 近隣にはたくさんの公園があり、天気の良い日には散歩に出かけています。 【園の特徴】 ・毎日20分程度、サントレ教育（DVDを見ながら漢字を使った言葉遊びで様々な言葉や表現に触れ、自分の表現力を広げ、心を育む取組）を行なっています。子どもたちは目を閉じ、姿勢を正して、クラシック音楽を聴きながら、瞑想をし、心を落ち着けて始めます。カリキュラムには学年によって俳句や諺、短歌、物語、童謡、漢詩に触れ、物語に出てきた漢字はカードを使い、復唱したり、ゲームを行ないます。徳性や情緒、感性を豊かにし、理解と思考力の基盤をつくり、コミュニケーションに必要な表現力を育んでいます。 ・園の階段下の壁に園関係のお知らせや横浜市、鶴見区等の情報を掲示しています。階段下を絵本コーナーにして、帰る際に子どもたちが立ち寄って読んでいます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月10日（契約日）　～ 2024年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回（一年度）

⑥ 総評

〈特長〉 １．食を通していろいろな体験 １歳児から5歳児の縦割りのグループを作り、食育活動を行なっています。乳児クラス・幼児クラスで食育活動計画を立て、子どもたちは自分たちでおにぎりを作り、屋上で、ピクニックランチを食べたり、炒った大豆を乳児クラスで叩き、つぶし、幼児クラスで、すり鉢で擦ってきな粉を作ったり、玉ねぎの皮で手ぬぐいを染め、運動会のハチマキを作ったりと食育活動を通していろいろな経験をしています。 2．保護者への情報提供 個別の連絡帳の入った保育アプリを使い、保育園での活動の様子を伝え、家庭での様子を伝えてもらい情報交換を行なっています。保育活動の様子を、月1回活動紹介として保育アプリで配信しています。保護者のもっと日頃の園での子どもの様子を見たいという要望から、玄関にデジタルフォトフレームを置き、月毎に、保育園での活動の様子をドキュメンテーションにして見られるようにしています。 3、園内研修・外部研修受講で保育の質の向上 アピカルキャリアパス要件表を作成し、職員が将来の姿を描くことができる仕組みがあります。園長は職員とミーティングで協議して園内研修・外部研修・キャリアアップ研修の年度計画を立て、職員が受講して保育の質の向上に努めています。 ◇今後期待される点 １．中・長期計画を反映した単年度計画の策定と実施状況の把握・評価

中・長期計画の内容を単年度計画に反映した具体的な計画を示すことが望まれます。即ち、単年度内で取り組む課題について具体項目・担当・達成時期を設定し、実施状況を把握・評価（記録）し、必要に応じ見直して次期計画に反映することが望まれます。

2. 子どもの地域交流や社会体験の取組促進
コロナウイルスが5類に移行した現在、状況を見極めながら、子どもたちの地域交流や園児の社会体験の機会を増やし、社会性を育てることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

あーす保育園鶴見中央は令和５年度第三者評価を初めて受審しいたしました。今年度は、数名の職員が入れ替っていることもあり、現在の職員全員で、再度全てのマニュアル等の見直しと確認をし、評価項目に沿って自園の現状把握をしました。保育の課題をテーマとした話合いと意見交換は、お互いの保育の共有や理解に繋がり、今後の保育園の方向を確認する良い機会となりました。共通項目【事業計画が適切に策定されている】では、事業計画は、組織として職員の参画や意見の集約等の仕組みを定めて作成するよう努め、半期や四半期等の期間ごとに振り返りを行ない、職員会議で進捗状況や課題を共有し、職員の意見や結果を反映した見直しが行えるよう改善してまいります。地域住民や関係機関等との連携については、コロナ禍の開園だった為地域交流が少なかった状態ですが、今後は近隣保育園や小学校等との交流、中学生高校生の職業体験等の実施に向けて取り組み、地域との関りを深めたいと思います。資料の作成では、私たちの保育を文章にし整理する過程で、日常の保育の意義を再確認することができ、一人ひとりの保育の学びにも繋がっています。園長自身も地域貢献等、園長と施設に求められる役割を改めて認識しました。保護者の皆様にはお忙しい中アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。皆様に頂いた評価に職員一同感謝し励みになりました。そして評価機関の皆様にはあーす保育園鶴見中央の保育を丁寧に評価ご指導いただきありがとうございました。評価結果を踏まえ、課題の改善に向けて取組みを進め、今後も職員力を合わせて保育の質向上に努めてまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙２のとおり